



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月13日

上場会社名 株式会社ハッチ・ワーク 上場取引所 東
 コード番号 148A URL <https://hatchwork.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 増田 知平
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 竹内 聡（TEL） 03(5772)3621
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第1四半期の業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	643	17.4	74	282.8	92	—	60	—
2024年12月期第1四半期	548	—	19	—	2	—	1	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	31.64	30.31
2024年12月期第1四半期	1.04	0.96

- （注）1. 2023年12月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
 2. 2025年12月期第1四半期の経常利益及び四半期純利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため「—」と記載しております。
 3. 当社は、2024年3月26日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2024年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2024年12月期第1四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	2,542	837	32.9
2024年12月期	2,430	777	32.0

（参考）自己資本 2025年12月期第1四半期 837百万円 2024年12月期 777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—				
2025年12月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,740	15.8	187	2.3	197	27.5	203	55.1	106.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期1Q	1,912,200株	2024年12月期	1,912,200株
2025年12月期1Q	一株	2024年12月期	一株
2025年12月期1Q	1,912,200株	2024年12月期1Q	1,668,454株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しやインバウンド需要の回復などを背景に、緩やかな回復基調となる一方で、物価上昇やエネルギーコストの高止まり、米国政策や金融市場動向への警戒感などにより、経済の先行きについては不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社は「CREATE FUTURE BASE」の企業理念のもと、月極駐車場オンライン管理支援サービスである「アットパーキングクラウド」に係るAPクラウドサービスを中心とする月極イノベーション事業の拡大に努めた結果、当第1四半期累計期間の売上高は643,538千円（前年同四半期比17.4%増）となりました。

営業概況としましては、APクラウドサービスにおける積極的な営業活動により契約社数は引き続き拡大しており、当該サービスに係るシステム登録台数（以下、APクラウド登録台数）も大幅に増加しました。それらにともない、管理会社から収受するシステム利用料、駐車場利用者から収受する決済手数料・初回保証料・月額保証料等が増加しました。また、貸会議室・シェアオフィスの両サービスともに売上高は堅調に推移し、営業利益は74,265千円（前年同四半期比282.8%増）、経常利益は92,490千円（前年同四半期差89,825千円増）、四半期純利益は60,498千円（前年同四半期差58,755千円増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(月極イノベーション事業)

当事業においては、従来の月極駐車場サブリースサービス、月極駐車場マッチングサービスを含むAPソリューションサービスに加え、主力事業である「アットパーキングクラウド」の導入が引き続き拡大しており、全国において扱う駐車場数が大きく拡大し集客数が増加することでさらに評価が上がり、「アットパーキングクラウド」の導入が進むという競争優位のスパイラルが続いています。月極駐車場検索ポータルサイト「アットパーキング」においても、不動産業界最大団体ハトマークグループのハトマーク支援機構との業務提携を背景にした営業活動により、認知度向上や物件掲載エリアの全国拡大が進み、「アットパーキング」の顧客である不動産管理会社等の集客力向上につながりました。また、当社の強みである空き埋まりのリアルタイム情報を活用し、地方自治体と連携した「災害ステーション」を拡大する取り組みを推進するため、営業人員の強化、当社管理システムへの登録推進や管理会社との関係強化、サービス内容の拡充などに社内資産を適切に配分することで、新規顧客（導入先）の獲得とサービスレベルの向上の両立を進めました。以上の結果、当第1四半期会計期間末でAPクラウド登録台数は393,755台（前年同期比19.6%増）となり、当第1四半期累計期間における売上高は406,349千円（前年同四半期比24.2%増）、セグメント利益は133,885千円（前年同四半期比58.9%増）となりました。

APクラウドサービス ARRの推移

	2022年12月期 第1四半期末	2023年12月期 第1四半期末	2024年12月期 第1四半期末	2025年12月期 第1四半期末
ARR（千円）	383,900	780,117	1,034,431	1,342,623

(注) ARR：Annual Recurring Revenueの略称。各期末月のMRR（Monthly Recurring Revenue）を12倍して算出。

MRR：Monthly Recurring Revenueの略称。対象月の月末時点における継続課金ユーザー企業及び月極駐車場利用者に係る月額料金の合計額（一時収益を含む）。

(ビルディングイノベーション事業)

当事業においては、貸会議室・シェアオフィスの両サービスともに売上高は堅調に推移しております。オフィス市場においては都心のオフィスの空室率の低下が続き、特に100坪以上の物件の平均賃料が高止まりしていることから、2025年度12月期の積極的な新規出店を見合わせている状況です。以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は233,281千円（前年同四半期比5.5%増）となり、セグメント利益は48,696千円（前年同四半期比9.3%増）となりました。

(その他事業)

当事業は当第1四半期累計期間から別セグメントとしております。主として月極イノベーション事業に関連するシステムの受託開発を集計しており、売上高は3,907千円、セグメント利益は2,425千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて72,822千円増加し、2,175,668千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が15,478千円減少したこと、月極イノベーション事業の拡大に伴い預け金が47,409千円増加したこと、その他が42,379千円増加したことによるものであります。固定資産は367,312千円となり、前事業年度末に比べて39,586千円増加となっております。以上の結果、総資産は前事業年度末に比べて112,408千円増加し、2,542,981千円となっております。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて76,142千円増加し、1,496,629千円となりました。その主な要因は、月極イノベーション事業の拡大に伴い預り金が74,299千円増加したこと、社債が50,000千円減少したこと、未払法人税等が25,101千円増加したこと、賞与引当金が12,749千円増加したことによるものであります。固定負債は208,716千円となり、前事業年度末に比べて24,231千円減少しました。その主な要因は、社債が10,000千円減少したこと、長期借入金が13,880千円減少したことによるものであります。以上の結果、負債合計は前事業年度末と比べて51,910千円増加し、1,705,346千円となっております。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて60,498千円増加し、837,634千円となりました。その要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が60,498千円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は32.9%（前事業年度末は32.0%）となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2025年2月12日公表の通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,474,198	1,458,720
売掛金	61,289	65,900
契約資産	3,155	7,058
貯蔵品	732	782
預け金	386,115	433,524
その他	241,293	283,672
貸倒引当金	△63,939	△73,990
流動資産合計	2,102,846	2,175,668
固定資産		
有形固定資産	41,692	40,612
無形固定資産	29,465	27,228
投資その他の資産	256,567	299,471
固定資産合計	327,726	367,312
資産合計	2,430,572	2,542,981
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,540	2,624
短期借入金	200,000	200,000
1年内償還予定の社債	60,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	50,040	50,040
未払法人税等	6,801	31,902
預り金	742,158	816,457
賞与引当金	5,480	18,229
保証履行引当金	9,506	9,928
その他	342,961	357,447
流動負債合計	1,420,487	1,496,629
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	181,850	167,970
資産除去債務	18,801	18,832
その他	2,296	1,914
固定負債合計	232,947	208,716
負債合計	1,653,435	1,705,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	56,900	56,900
資本剰余金	588,770	588,770
利益剰余金	130,952	191,451
株主資本合計	776,623	837,122
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	512	512
評価・換算差額等合計	512	512
純資産合計	777,136	837,634
負債純資産合計	2,430,572	2,542,981

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	548,069	643,538
売上原価	246,026	262,131
売上総利益	302,043	381,407
販売費及び一般管理費	282,643	307,141
営業利益	19,399	74,265
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	485
補助金収入	-	20,050
その他	103	68
営業外収益合計	107	20,605
営業外費用		
支払利息	970	1,753
社債利息	416	264
株式交付費	5,551	-
上場関連費用	9,100	-
その他	803	361
営業外費用合計	16,841	2,379
経常利益	2,665	92,490
税引前四半期純利益	2,665	92,490
法人税等	921	31,992
四半期純利益	1,743	60,498

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	月極 イノベーション事業	ビルディング イノベーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	327,043	221,026	548,069	—	548,069
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	327,043	221,026	548,069	—	548,069
セグメント利益	84,240	44,558	128,799	△109,399	19,399

(注1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	月極 イノベーション 事業	ビルディング イノベーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	406,349	233,281	639,631	3,907	643,538	—	643,538
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	406,349	233,281	639,631	3,907	643,538	—	643,538
セグメント利益	133,885	48,696	182,582	2,425	185,008	△110,742	74,265

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注3) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	5,791千円	4,342千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。